



- 議長 年頭のごあいさつ 2
- 12月定例会のあらまし 2
- **ズバリ直言** 町政を問う 4
〈「AED」屋外設置をすすめよ など9人が質問〉
- 委員会レポート 14
- あい・らぶ・マイタウン 18
「南部中学校・荻谷小学校」 「編集後記」

年頭のごあいさつ



議会議長

浅井 武光

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成28年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年、政府は人口減少対策のための総合戦略策定に乗り出し、地方創生の取り組みは喫緊の課題となっております。

幸い幸田町は、日本創成会議が試算した消滅自治体に入っていないませんが、激変する経済情勢や自然災害などによって、この試算も簡単に真逆のものとなるため、幸田町は油断なく、これまで以上に様々な課題に対応していく必要があります。景気・雇用対策はもとより、財政健全化、環境対策、教育や福祉・医療の充実など多岐にわたっています。

町議会としても、このような課題を見据え、安全・安心を実感できる町づくりのため、行政はもとより町民の皆様と協働しながら、全力で取り組んでまいります。

また、本年は議会報告会の開催を予定しております。皆様との意見交換と連携によって「開かれた議会」に向け、さらに取り組んでまいれる所存です。

新しい年が皆様にとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしました。年頭のごあいさつといたします。

平成28年1月

岡崎市子ども発達センター 幸田町民の利用を決める

12月			
の	会	例	定
し	ま	ら	あ

- 子ども発達センターは、相談、診療、療育、地域支援の4つの機能を備え、利用の開始は平成29年4月1日から。
- 利用方法は、岡崎市子ども発達センター条例と今後制定される規則などによる。
- Q** 幸田町民の利用料、手数料は。
- A** 岡崎市民と同じ。施設は遠くて通うのが大変では。
- A** 送迎バスを用意する。
- Q** 利用者の年齢引き上げはできないか。
- A** 相談は18歳まで、医療は就学前を基本としている。詳細は今後協議する。
- Q** 幸田町民が自身の狭い思いをしないか。
- A** 対等の立場での利用を確保する。(全員賛成で可決)

12 月定例会は、12月1日に招集され、21日までの21日間の会期で開催されました。

岡崎市子ども発達センターの幸田町住民の利用、指定管理者の指定、幸田町条例の一部改正など、単行議案7件と補正予算2件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

そのほか、陳情4件を審議し、不採択としました。一般質問では、9人が町政全般にわたる課題をただし、提案しました。



岡崎市子ども発達センターのイメージ図

「ハッピーネス・ヒル・幸田」 など指定管理者決める

ハッピーネス・ヒル・幸田の指定管理者を幸田町文化振興協会とする。

期間は平成28年4月1日から平成33年3月31日まで。

Q 図書館は指定管理者制度になじまないが。

A 地域の特性として、一体的に管理したい。

Q 管理運営業務の評価方法は。

A 評価の研修を受けた職員が担当。評価シートは他市を参考に独自のものを作成した。

Q 選定委員会の委員に学識経験者がいないが。

A 利用者代表の3人がそれぞれ、学識の持ち主。(反対2賛成13で可決)

高齢者生きがいセンター及び高齢者ふれあいプラザの指定管理者を幸田町シルバー人材センターとする。

Q 幸田町シルバー人材センターは、平成25年度と26年度が連続で赤字だが。

A 公益法人になったため利益を出しにくい状況。(反対1賛成14で可決)

人事行政の運営等の状況公表内容の一部改正

公表事項に職員の人事評価、休業、退職管理を追加する。

Q どのような方法で公表するのか。

A 近隣市との調整を図り、広報などで公表する。(全員賛成で可決)

町税条例等の一部改正

町民税の納期限の扱い、納付困難時の換価の猶予申請書の新設など改正。

Q 手続関係の周知は。

A 平成28年3月までに、

広報やホームページで周知する。(全員賛成で可決)

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

火災、暴風などの災害に従事し、公務災害を受けた場合は、高い調整率を用いて加算部分を実質的に満額支給する。

Q 高い調整率とは。

A 現行の70%~90%を5割増しとなる。(全員賛成で可決)

一般会計補正予算

666万7000円増額

歳入	歳出(主なもの)
選挙人名簿システム改修費補助金(国費)	選挙関連システム改修委託料
63万3000円	180万円
私立幼稚園就園奨励費補助金(国費)	幸田土地改良区管理負担補助
138万6000円	449万6000円
財政調整基金繰入金	
464万8000円	
幸田土地改良区補助金	
283万6000円	
農業集落排水事業特別会計繰出金	
330万円	
坂崎小学校特別教室他空調整備等工事費	
340万円	
幸田小学校樹木移植工事費	
110万円	

特別会計補正予算

集落排水事業費(消費税納付増分) 300万円
(反対1賛成14で可決)

陳情

○介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書
陳情団体 愛知自治体キヤラバン実行委員会
(反対13賛成2で不採択)

○安全・安心の医療、介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
陳情団体 愛知県医療介護福祉労働組合連合会
(反対13賛成2で不採択)

債務負担行為補正(追加)

ハッピーネス・ヒル・幸田指定管理料 16億2500万円

Q 消費税増加分の対応は。

A 2500万円アップした。

高齢者生きがいセンターおよび高齢者ふれあいプラザ指定管理料 3970万円

岡崎市こども発達センターの整備に要する負担金平成29年度から45年度まで 3億9745万1000円
(反対2賛成13で可決)

○愛知県看護職員15万人体制などの実現を求める陳情書
陳情団体 愛知県医療介護福祉労働組合連合会
(反対13賛成2で不採択)



幸田小学校 移植エリアの樹木

一般質問

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



9議員が登壇

町政を問う

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

質問者	件名	頁
酒向 弘康	1 「AED」屋外設置をすすめよ 2 行方不明者対応は緊急課題だ	5
中根 久治	1 ネット環境の充実で町に魅力を 2 KIA 事務所とトイレの整備を	6
水野千代子	1 オリジナル婚姻届の作成を 2 移動式赤ちゃんの駅の導入を 3 「感震プレーカー」設置に助成を	7
志賀 恒男	1 新たな指定文化財の登録案件は 2 教育の基本理念・方針の策定を	8
丸山千代子	1 町独自の少人数学級の実施を 2 サッカーのできる専用コートを	9
足立 初雄	1 愛は幸田町を幸せな町にするか 2 産婦人科誘致の取り組みを	10
大嶽 弘	1 島原市との姉妹都市提携は 2 町づくり提案制度の創設は	11
鈴木 重一	1 地区防災訓練への支援は 2 平成 28 年度の緑化計画は	12
伊藤 宗次	1 広田川萱堂地内の堤防拡幅整備を 2 手上げても無視された要支援者	13

※質問の内容は2件までを掲載しています。



酒向 弘康 議員

問 「AED」屋外設置をすすめよ

答 公の施設やコンビニ設置は検討



高力区防災訓練での救命講習

1秒でも早くAEDが使える環境整備は、行政の役割だ。町民の「救える命を救う」施策を問う。

問 公共施設と民間の設置の状況は。

答 **消防長** 公共施設34施設42台、事業所25施設33台を把握。

問 設置補助制度の創設の考えは。

答 今後の研究、検討課題。交番や駐在所に設置がすすむよう近隣と協力して県に要望すべきだ。

答 関係各課と協議し、設置要望、方法など検討し、要望していく。

問 24時間いつでも誰でも使用ができるよう屋外設置化をすすめるべきだ。

答 他市町の対策など研究

し、所管課と検討。

問 公共施設の自動販売機をAED内蔵のものに切り替えていく考えは。

答 屋内設置、または月間の売上本数400本以上の条件にあう場所があれば設置を依頼したい。

問 県内全体に拡大しているコンビニ店などにAEDを設置していく考えは。

答 **町長** 公の施設には設置する考えで、コンビニには使い方も検討しながら前向きにすすめたい。

問 行方不明者対応は緊急課題だ

答 見守りネットワークを構築する

問 町内行方不明の事案発生が急務だ。

答 防災無線で「行方不明者」の放送が多くなっている。早期に発見し、保護できるよう連携システムの構築が急務だ。

問 認知症サポーター養成事業や官民一体で「声掛け」の組織づくりなど、今後の「見守り施策」の取り組みは緊急課題だ。

答 地域・関係機関への協力を求め、新たな見守りネットワークの構築を図る。

生数と推移は。
答 **総務部長** 平成27年は5件発生している。県内でも増加傾向にある。

問 学校の生徒が通学途中、事件に巻き込まれないよう、学校や地域での対応は。

答 **教育部長** 緊急共有化広域ネットワークにて、各学校や関係機関に連絡し、保護者や見守りボランティアア団体に協力を依頼している。

問 本町の徘徊高齢者探索支援事業の「受信端末機貸与」の内容、利用状況と今後の周知の方法は。

答 **健康福祉部長** 介護する方に貸与し、徘徊する高齢者などに携帯させ位置情報を入力し探索する。利用者は1件。周知は広報などで。



中根 久治 議員

問 ネット環境の充実で町に魅力を

答 研究したい

問 魅力ある町を実現する手段としてインターネットの利用環境の整備がある。町のホームページ作りを問う。

答 ひらがな表示、外国語表示などの機能の充実はどうか。

問 町立図書館だけでなく学校や公民館の蔵書情報の共有化は。

答 町立図書館とつなげてということまでには、まだ至っていない。

問 公共施設のWiFi環境の整備で町に魅力を。

答 愛知無料公衆無線LAN推進協議会から情報提供を受け、研究したい。

問 KIA事務所とトイレの整備を

答 前向きに検討する

答 企画部長 誰でも利用できるようにホームページの改善に努める。

問 親しみやすいホームページとして、一般参加型のページを設けることはどうか。

答 ジャンル分け、選定方法、目的など検討課題。

問 ホームページのデータの質と量の充実をすすめるべきだがどうか。

答 ホームページの充実とあわせて、データのデジタル化に努める。

問 図書館蔵書のデジタル化は。

答 教育部長 近隣市町の状況も見ながら検討する。



町立図書館でインターネットの利用

もう一度訪ねてみたい町にするには情報の信頼性が必要だ。その信頼性を問う。

問 「文化財ウォーキングマップ」の未修正箇所はどうする。

答 教育部長 どう改めていくか、さらに検討していく。

問 文化財説明板の設置数と内容の確認と修正は。

答 35基の公設と9基の私設看板。訂正できるものがある対応できるもの

は検討する。

問 三ヶ根駅前観光案内所の充実。

答 環境経済部長 職員配置までは考えていない。

問 三ヶ根駅前の西尾市設置観光看板を含めて、駅前の整備は。

答 具体化した段階で、地域と相談・検討する。

問 外国人へのゲストハウスとしてのKIA事務所とトイレの整備を。

答 企画部長 要望などは出していないが、トイレは前向きに検討する。

問 KIAその他の団体の国際交流での連携は。

答 アンケートなどをもとに話し合いをすすめる。



水野 千代子 議員

問 オリジナル婚姻届の作成を

答 愛知県のご当地婚姻届を利用で

戸籍法で婚姻届用紙はA3サイズ、名前や住所、本籍地、保証人など書き込む様式は規定があるが、色やデザインは自由である。居住地や本籍地に限らず、全国どここの市区町村でも提出できることから以下を問う。

問 年間の婚姻届数は。
答 (住民こども部長) 平成24年が435件、25年が448件、26年が411件、27年は11月まで385件。月平均は35から36件。

問 郷土愛を深め未永く町内に住んでほしいとの願いを込め、オリジナル婚姻届の作成を。
答 オリジナルものは、県下に導入例がない状況。今後、近隣の市町の動向を見て検討したい。

当面、愛知県の「まちキコン(ご当地婚姻届)」を、町のホームページにわかりやすくリンクして対応。
問 婚姻届の時に記念となるよう写真撮影のできる特設ブースやメモリアルボードで新しい門出の祝福を。

答 届け出時、記念撮影の

要望には、お祝いの気持ちを持って対応に努めている。メモリアルボードは検討していきたい。

問 移動式赤ちゃんの駅の導入を

答 導入を検討していきたい

問 乳幼児連れの保護者が安心して外出できるように、おむつ交換のベビーベッドやパーテーションなどで仕切られた部屋で人目を気にせず授乳できる場所として「赤ちゃんの駅」を公共施設や商店街などに設置を。
答 (健康福祉部長) 町内の公共施設で、授乳室があるのは子育て支援センターと図書館の2カ所。役場や保健センターは、空き室を利用。

民間では、スーパーや



豊川市の移動式赤ちゃんの駅

子ども洋品店にある。

「赤ちゃんの駅」は、現段階で、看板をかけて固定的に設置することが難しい状況にある。
問 年間の出生数は。
答 平成24年が454人、25年は459人、26年は425人。

問 町民大運動会や新春駅

伝などの屋外イベントでは、おむつ交換や授乳の場所がない。貸出しができるテント「移動式赤ちゃんの駅」の導入を。
答 イベント主催者に対して、対応を要請していく必要があると考えている。導入を検討していきたい。



志賀 恒男 議員



芦谷の陣屋跡（内藤家）

問 新たな指定文化財の登録案件は

答 芦谷の陣屋跡など数件

平成28年度から始まる第6次幸田町総合計画がまとまった。内容は分かりやすいが、中・長期計画がない項目がある。

企画部長 コミュニティホームの維持修繕を予定。補助制度の見直しを検討する。

環境経済部長 独自の策定はせず、創業支援事業計画、経営発達支援計画で取り組む。

教育の基本理念・方針の策定を

答 学校教育展開の指針で対応

町内の児童・生徒の学習習慣や生活習慣の調査結果と対応は、

観光の振興のための中・長期計画の策定を。あいち観光戦略（仮称）を参考とする。

文部科学省は、全国学力テストの結果を公表した。全国平均、県平均と比較し、幸田町の結果は、

全国と比較すると割合が高いのは、学校の決まりを守る、家で宿題をする、保護者の授業参観・運動会参加など。個人の勉強時間数は、低い結果となった。



丸山 千代子 議員

町独自の少人数学級の実施を

答 嘱託での対応を優先したい

国の「教職員定数改善計画」は、今年度で小学校全学年の35人学級が実現できたが、計画が凍結している。貧困と格差の広がりなど、さまざまな要因で手厚い対応の子どもが増えている中、どの子にも行き届いた教育をすすめるため、町独自の少人数学級の実施を問う。

問 小中学校の全クラス数と35人以上のクラス数。

答 **教育部長** 通常クラス124、特別支援クラス23、合わせて147クラス中24である。

問 全学年で35人学級を実施するための教員数と必要額は。

答 8人の学級担任が必要。年齢が30歳程度で約2500万円から3000万円となる。

問 県内市町村の実施状況。
答 豊田市は、小学3年生、中学2・3年生で35人。知立市は、小学3・4・5年生で35人編成である。

問 段階的に取り組み、町独自で実施を。

答 様々なニーズに応えるため、嘱託での対応を優先したい。

問 愛知県は低水準。実施を求めよ。
答 施策や予算措置に関する要望は継続していく。

問 サッカーのできる専用コートを

答 柳川遊水地を専用状態で使用

いつでも、どこでも、だけれども、日常的にスポーツをするための施設整備の要望は高い。特に子どもものスポーツは盛んであり、地域のスポーツ施設の整備づくりを問う。

問 子どものスポーツ活動の団体の数と参加人数は。

答 **教育部長** 少年少女スポーツ教室は、11種目で延べ469人。体育協会加盟5団体234人。その他15団体がある。

問 不足する施設の実態は。
答 全部で11施設あるが、希望日が重複しているの



サッカー用地の整備を期待 (坂崎地内柳川遊水地)

が現状。

問 サッカーのできる専用コートを整備を。

答 柳川遊水地を専用可能な状態で無料で使用している。改善は検討する。

問 中央公園は多目的にスポーツができるが、炎天下や突然の雨などでひさしの要望がある。観覧席の整備を。

答 **建設部長** 利用者の声を参考に必要性含め十分に検討して前向きにすすめていく。

問 スポーツ振興のため基盤整備を計画的にすすめる考えは。

答 現段階で計画を持つことは考えていない。



足立 初雄 議員

問 愛は幸田町を幸せな町にするか

答 愛のあるまちづくりをすすめる



愛を発信する庁舎

問 「広域行政の推進策」の島原市との姉妹都市推進は、「愛があり、歴史、伝統文化、自然環境のある町」と答弁したが、2期目の政策に愛を込めることができるかを問う。

答 企画部長 歴史や文化を共有し、人と人が触れ合うために直接訪問し親交を深め信頼関係を築く。政策の児童館の建設で高齢者と愛のある関係が築けるか。

答 住民こども部長 児童館の行事・イベントなどの企画・運営で、地域の子どもたちと高齢者が交流する場づくりで創意工夫。

問 産婦人科誘致の取り組みを

答 あらゆる手をかけ要望していく

問 「行政改革と住民サービスの向上」政策の町立体育館建設に愛は。 **答** 教育部長 具体的進展はないが、広く町民に愛される施設実現に努力。 **問** 職員心の教育・研修を。 **答** 企画部長 来庁者への接遇、おもてなしの精神の向上のため研修をさらに充実する。 **問** 愛は幸田町を幸せな町にするか。 **答** 町長 愛の根底には、人が生まれて死ぬまでを幸せに過ごすことである。町民の幸せのため愛のあるまちづくりをすすめる。

問 町長の2期目の政策の一つである「健康で暮らす町」の実現策を問う。 **答** 健康の定義は。 **答** 健康福祉部長 肉体的、精神的、社会的に全てが満たされた状態にある。 **問** 社会的健康とは。 **答** 社会という集団の中で建設的により関係を築く。 **問** 町民の健康度の評価は。 **答** 特定健診の受診率が高く、介護認定者が少ない。 **問** 第2次健康こうた21計

画の取り組みは。 **答** 重点目標は、欠食をせず、積極的に体を動かす年1回健診を受診。 **問** 町民の野菜摂取量は。 **答** 平均219g。 **問** 厚生労働省の基準は350gであるが、摂取量アップの具体策は。 **答** 健康福祉まつりで野菜摂取啓発イベントを取り組んだ。 **問** 人間ドックの自己負担額7000円は安い、その効果は。 **答** 受診者が増加。 **問** 新たな健康増進策は。 **答** 健康マイレージ事業の実施に向け具体化をすすめている。 **問** 産婦人科誘致の取り組みを。 **答** 町長 何としても産科の開業に向け、あらゆる手をかけて要望していく。



大嶽 弘 議員

問 島原市との姉妹都市提携は

答 持続可能な交流体制を構築する



島原市との友好親善交流会（つばきホール）

平成27年10月31日、「島原市と幸田町の友好親善交流会」が開催された。今後の計画を問う。

それぞれの存在を意識するきっかけとなった。今後の交流計画は、友好親善訪問の旅を実施し、町民と各種団体事業者を巻き込んだ交流の促進を図りたい。

コミュニティ事業の見直し、新たな事業提案制度の創設などを問う。

問 町づくり提案制度の創設は

答 先進的な自治体を参考に検討

問 「友好親善訪問の旅」の計画内容の公表は。
答 決まった段階で、議会町民などに示し、すすめる。
問 姉妹都市提携の考え方は。
答 交流の意義を町民や議会、行政が共有し、持続可能な交流体制を構築する。
問 提携に関する町民意思の収集は。
答 交流事業に参加した個人や団体から多くの意見やアイデアを参考にすすめる。

問 風揚げまつりに向け風づくりをしている人への当局の思いは。
答 教育部長 多くの町民の協力を得て、実施できているものと感謝している。
問 毎年のコミュニティ事業の見直しは。
答 総務部長 住民目線で、個々に改善できることは対応している。
問 コミュニティ事業の補助金算定方法は。
答 補助対象事業費の5分の4。または、均等割額18万円+世帯割額160円×学区世帯数+補助対象事業費の3分の1で得た額のいずれか少ない額以内。
問 若い世代、転入者などが増加している。新たな自主的提案と補助金制度創設の考えは。
答 先進的な自治体の状況を見て、使いやすく地区の独自のアイデアで活用できるような補助制度を検討していきたい。



鈴木重一 議員



子どもも参加した地区防災訓練（横落区）

問 地区防災訓練への支援は

答 助言と防災グッズ・非常食提供

災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」を活動目的に結成された、自主防災会の現状と支援策を問う。

問 自主防災会組織の編成状況は。

答 消防長 23行政区、23組織で、人数は4月1日現在1万8000人。

問 防災訓練で不慮の事故が発生した場合の補償は。

答 防火防災訓練災害補償等共済制度に加入している。

問 防災訓練に対する支援内容は。

答 総務部長 訓練メニューや訓練方法などの助言をし、啓発用防災グッズや非常食を試食用に提供。

問 防災器材などの購入で平成27年度補助金実績は。

答 消防長 年度途中であるが、申請のあった14区に185万7000円。

問 組織のレベルアップを図る対策として、協議会を設置する考えは。

答 総務部長 防災リーダー育成に重点をおき、防災レベル底上げをした上で、組織化が望ましく、他の自治体協議会組織を研究し新たな取り組みを検討。

問 平成28年度の緑化計画は

答 六栗区画整理区域内公園に植栽

まちの緑は人々に潤いと安らぎを与えてくれ、身近で貴重な自然があり、美しいまちづくりに重要な役割を果たしてくれている。町の緑化推進を問う。

問 県の「あいち森と緑づくり事業」の7年間の実施件数と交付金額は。

答 建設部長 平成21から27年度の間に、41件、約1億6000万円。

問 県民参加緑づくり事業の内容は。

答 環境経済部長 ボランティア団体でも、公共施設の緑化を目的とするものなら利用可能。

答 中央公園や不動ヶ池園地、つばきの小径、相見駅周辺、岩堀区画整理区域内などを実施し、参加者は小中学校、幸田高校、地域住民や企業で延べ2888人。

問 平成28年度に計画する事業は。

答 六栗の区画整理区域内の公園緑地への植栽。

問 合併60周年事業「フラワーステーション3駅に花を植えましょう」は、継続性を考えてのことか。

答 継続計画はない。新たな取り組みをきっかけに、地域と共に駅の美化意識を高めていきたい。

問 ボランティア団体が「緑の募金」を活用可能か。

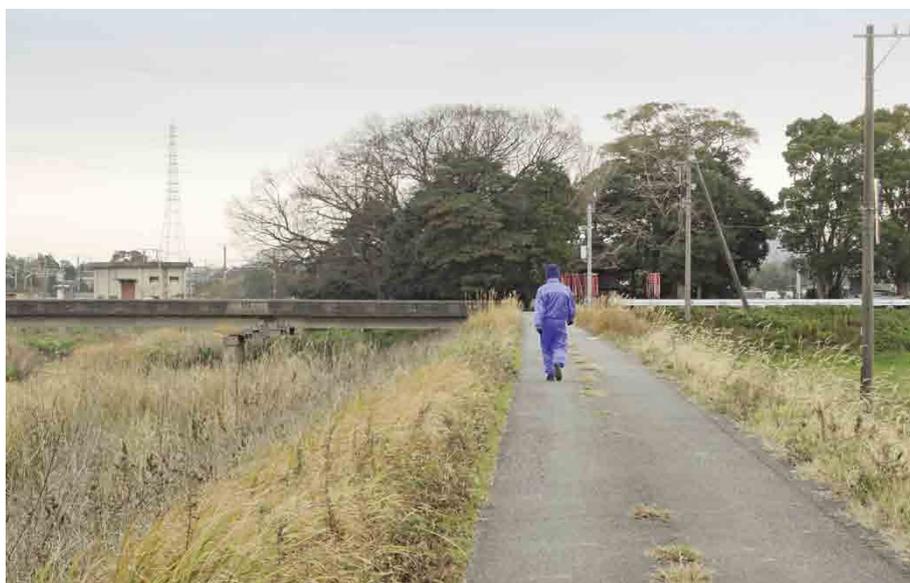
答 環境経済部長 ボランティア団体でも、公共施設の緑化を目的とするものなら利用可能。



伊藤 宗次 議員

問 広田川萱堂地内の堤防拡幅整備を

答 残土との関連性を踏まえ検討



広田川観音橋付近（岩堀地内）

問 広田川右岸萱堂地内の企業から観音橋まで約350mの堤防拡幅は地権者などの約束事だ。

答（建設部長） 下流部分までの拡幅補強の約束は承知してない。

問 圃場整備で2.5m以上の用地協力がある。

答 残土が出たときは検討

問 道の駅用地造成工事残土で県土木の暗黙の了解で拡幅整備している。

答 公共残土の処分先として、合理的な発想。

問 行政の勝手な都合で災害発生の危険箇所見ずでいいの。

答 補強しなくてはいけない

問 人と、理解している。人柱が建たないと動かすの行政でいいの。

答 公共残土を敏感にとらえ、時期を逃さず取り組んでいく。

問 道路幅員2.5mの未整備道を用地協力のある幅員まで拡幅整備し、補強計画の具体化を急ぐべきだ。

答 残土の出るところの関連性を踏まえて検討。

問 手上げても無視された要支援者

答 安否確認の訓練のみで誤解

問 今年度の地域防災訓練の成果と教訓は。

答（総務部長） 16区で実施体験することが重要。未実施の地区に実施を呼びかける。

問 要支援者の訓練参加の状況は。

答 要支援者の参加もあるが、詳細は未確認。

問 要支援者の訓練参加でどこに問題があるのか。

答 災害時要支援者登録がすすんでいない。

問 昨年度の訓練で要支援者は、自宅前に目印などの掲示を求められ掲示しただが無視された。

答 今年度も掲示したが黙殺された。なぜか。

問 安否確認の訓練のみで誤解を与えた。

答 災害発生時、行政は頼れない。行政区や隣組の支援が重要だが、機能しているか。

問 地元と相談し、ルールづくりをおこなう。

答 目的意識的に要支援者支援のマニュアルを。地元と協力し、一歩ずつすすめる。

問 外面（ところら）だけの防災訓練でなく、実効性のある防災訓練を。

答 実践に近い防災訓練に向ける。

幸田小学校の校舎増築計画

総務教育

11月13日 協議会開催

相見地区の市街化などによる児童数の増加で、平成29年に幸田小学校の教室不足が予想される。

Q 予想される児童数と必要な教室数は。

A 現在800人・28教室が、平成33年に1100人・35教室と予想。

Q 増築する校舎の場所と規模は。

A グラウンド北西部に3階建の校舎を建設する。校舎の南面にバルコニーを配し、運動会など観覧

消防指令業務の共同運用

岡崎市と消防指令業務の共同運用を検討している。

Q 町のメリットは。

A 施設整備費・運用費の低減、現場到着時間の短縮など。

Q 費用の低減効果は。

A 施設整備費3000万円減、指令業務の人員が6人から4人になる。

Q 今後の予定は。

A 平成27年11月に協定書を締結。平成30年4月から運用を開始する。

できるスペースを確保。



幸田小学校増築校舎のイメージ図

全国学力テスト

1位の市を視察

10月28日から30日まで秋田県由利本荘市、岩手県胆沢郡金ヶ崎町、花巻市を視察

■由利本荘市

全国学力テストで連続トップを続ける教育委員会の取り組みを視察。

教育委員会が、教育の基本理念・基本方針を策定し、国・県・市・学校・地域・家庭が連携し、学力向上に取り組んでいる。

教育現場では、テスト結果に対する授業改善が適切に実施されている。

■金ヶ崎町

町民憲章の実現のため5年前に教育振興基本計画を策定した。

「まちづくりは人づくり」を基本理念とし、施策の成果のための数値目標を設定。

審議会の女性割合30%や地域づくりの補助金制度に



由利本荘市での視察研修

成果があった。

■花巻市

起業化支援センター

起業・創業支援のため、貸研究室、開放試験室、貸工場を有し、高水準で稼働。

専門分野を持つコーディネーターや岩手大学との連携が強みとなっている。

福祉産業建設

通学路交通安全
プログラム策定



高力地内の通学路

11月4日 協議会開催

策定されたプログラムに基づき、関係機関が連携し、通学路の安全を確保。
Q 通学路安全推進会議の開催は。
A 年1回、8月頃。
Q 学校から提出の危険箇所数は。

A 平成24年度の緊急合同点検では、22カ所。
Q 公安委員会に、道路管理者からの働きかけは。
A 推進会議に警察署も加わっており、早期課題解決に結びつくことを期待。
Q 児童館建設基本構想策定の中間報告
 基本理念を「遊びが育てる子育て支援と地域交流の場」とし、新たに幸田・豊坂・坂崎小学校区に児童館を建設。
Q 駐車・駐輪場の確保を、確保し安全対策を配慮。
A 各施設名称は慎重に、建設の段階で検討。
Q 既存児童館はどうする。
A 基本構想に改修の方向を盛り込む。
Q 中高生の居場所づくりの配慮を。
A 意識した計画の策定を考える。

三ヶ根駅前水路
ボックス化

幸田・三ヶ根駅前
整備特別委員会



整備が待たれる三ヶ根駅前水路

10月27日 協議会開催
 三ヶ根駅前水路計画
 国道23号から深溝駐在所までの区間、62・5mをボックス化。
Q ボックス化する理由は。
A 有効的に土地利用ができる。
Q 工事時期は。
A 平成28年度の完成を目指す。
Q 豪雨時の降雨量に、十分対応できるのか。
A 下水道計画基準は1時間あたり50ミリ。上流部が4.2倍、下流部を1.8倍の安全率で計画。
 幸田駅前広場等基本計画
 ①東西の駅前広場の設置
 ②駐車・駐輪場の分散配置
 ③自由通路の設置など整備計画を検討。
Q 駅東と駅西の間には、高低差があるが。
A 自由通路を設けることで、人、自転車の立体的な接続が図れる。
Q 駅前広場を一番早くすすめてほしい。
A ①②③は順番でなく、一体的な部分と考える。
Q 具体的な中味が必要。
A 年度未までに、詳細を図面にしていきたい。

新たに 企業2社進出

地方創生 特別委員会



企業進出が決まった野場松ノ本地区

野場松ノ本（デンソー西尾製作所の東）と桐山（桐山IC南）地区への進出企業が決まった。

今後、地元説明会と農地転用などの行政手続きがすすめられる。

Q 他の地区への優良企業の誘致方策は。

A 企業回り、幸田プレス、テジレクチャースなど活用する。

Q 工場建設には、法規制のハードルが高い。

A 進出企業が決まらないと法規制は外せない。

10月26日 協議会開催

幸田町ひと・まち・しごと総合戦略の基本目標は。

①仕事を育てる。②人の流れを育てる。③子どもを育てる。④地域を育てる。と

し、各地域の児童館などを拠点とする住民交流、産業育成により地域発展を目指す方針。

豊根村との連携によるプラスマ技術応用事業は、先行型交付金が両町村に各5000万円に決定した。

空間情報科学など視察

11月17・18日 千葉県柏市、埼玉県和光市を視察

■東京大学柏キャンパス

空間情報科学の研究と情報の共有が図られている。

地図上に、航空・衛星画像、社会統計、自然観測

人や物流、歴史まで、あらゆる情報をコンピュータで管理し、必要情報を加工し

見える化している。

カーナビ、スマホ情報に

応用され、地方自治体の防災・減災・救済対策にも利用されている。

今後は、衛星利用で人や車の移動情報や地域ボランティア活動による行政サポートなど幅広い展開が期待

されている。



和光理研内の研究室

■和光理研インキュベーションプラザ（※）

新たな事業展開を図る個人、ベンチャー企業などに家賃補助、経営相談から金融面まで支援している。

平成27年度の入居企業は15社。上場会社も誕生させていた。

（※）インキュベーションとは、卵などがふ化（起業する）こと

防災・減災対策 特別委員会

名古屋大学 減災館を視察



耐震対策を学ぶ

11月2日 協議会開催

9月5日実施の幸田町総合防災訓練の結果

Q 煙体験は好評だった。今後の活用は。

A 各区での訓練でも体験してもらおう。

Q 地区ごとの防災訓練は。A 今までに11区が実施であり、未実施区にも依頼していく。

Q ボランティア受け入れ訓練は。

A 訓練内容などを関係団体と協議し、来年に向けて充実させたい。

11月20日、名古屋大学減災館を視察

減災館は、地下に免震装置を設置した建物で、災害時の対応拠点になっている。減災連携研究センターは、南海トラフ巨大地震など、大規模災害に備えるため2010年10月に発足。自治体や産業界から受託研究員を派遣。本町も派遣している。

毎月講座を開催しており、「建築を支える土と土台」を研修した。

議会広報 特別委員会

たいわ 大和町視察で けんさん 更なる研鑽



笹野康男議員 表彰される

平成27年10月29日、愛知県町村議会議長会総会において、自治功労表彰が笹野康男議員に贈られました。この表彰は、議員在職15年の長きにわたり、地方自治の振興に寄与された功績によるものです。



視察研修した大和町役場

10月20・21日、東京都千代田区シエーンパツハ・サポーにて広報研修会。10月22日、宮城県黒川郡大和町議会の広報視察をした。毎年全国優良広報紙として表彰を受けている。目ざすべき議会広報紙を発行されている。発行の方針・理念は「広

く町民に知っていただくために、読まれる広報紙を目ざし、町民の目線に立った紙面づくり、企画記事の編集を心掛けている」。本町の議会たよりも理想をもって議会全体で取り組んでいかなければならない課題である。



荻谷小学校6年
おおだけたかひろ
大嶽公寛 くん



南都中学校3年

ながやたくみ
長谷拓海 くん



幸田町の町づくり

ぼくたちは、町づくりに
ついて考え、調べ、プ
レゼンテーションを行う学
習をしました。

ぼくの班は、公園につい
て考えました。駅や児童館
などについて考えた班もあ
りました。役場の方に話を
聞いたり、いろんな人にア
ンケートに協力してもらい
ました。

この学習を通して、感じ
たことが2つあります。1
つ目は、町づくりはそう簡

単なことではないというこ
とです。公園をつくるのに
もお金がかかります。場所
も探さなければいけません。

2つ目は、自分たちでもで
きることもあるということ
です。例えば、公園を清掃
したり、許可を得て花を植
えたりすることはできます。
また、役場の方たちから「ア
イデアがあったら役場に言
ってほしい」と言われました。
これから、自分たちで
できることはやり、できない

幸田町の自然

僕
の思う幸田町のいいと
ころは自然です。緑
豊かでさわやかな幸田町の
自然が僕は大好きです。春
夏秋冬さまざまな自然を身
近に感じることができ、ど
の季節も好きになりました。
その中でも僕は、春の桜が
一番好きです。

僕の住んでいる桐山区で
は川に沿って植えられてい
て、毎年見事な桜の花を見

ることができません。しかし、
それがあたり前にあるのも
守ってくださいている人が
いるからこそだと思ってい
ます。そんなふうに見て
みると今までは違っ
た。その桜の木の下にゴミ
が落ちていたらいろんな人
の思いが台無しになってし
まうのではないでしょう
か。これからも美しい自然豊か



ことは大人のみなさんに提案
して、幸田町をもっともっ
といい町にしていきたいと
思います。

な幸田町であるために僕に
できることからしていきたい
です。



絵: 牧野次男さん (芦谷)

あなたも議会を 傍聴してみませんか

3月定例会の予定です。

- 会期の日程
- 3月 2日 (水) 開会、議案の説明
- 7日 (月) 一般質問
- 8日 (火) 一般質問
- 10日 (木) 議案の質疑
- 11日 (金) 議案の質疑
- 15日 (火) 予算特別委員会
- 16日 (水) 予算特別委員会
- 17日 (木) 福祉産業建設委員会
- 22日 (火) 総務教育委員会
- 24日 (木) 議会運営委員会
- 28日 (月) 討論、採決、閉会

- 場 所 役場5階 議場
- 時 間 午前9時から
- 詳しくは議会事務局へ
TEL 63-5151 (直通)

編集後記

昨年末、平成27年の世相
を表す一文字漢字に「安」
が選ばれました。

採用など、より見やすい紙
面づくりに取り組みました。
編集にはより多くの人に
心をもってもらうように、
さらに身近な議会だよりを
めざしてまいります。

(丸山千代子)

議会広報特別委員会

- 委員長 酒向 弘康
- 副委員長 大嶽 弘
- 委員 水野千代子
- 丸山千代子
- 鈴木 重一
- 稲吉 照夫
- 伊與田伸吾
- 足立 初雄

活躍が期待されます。
「こうした議会だより」で
は、年2回、住民参加の特
集を組み紙面づくりをして
います。

発行責任者

- 議長 浅井 武光

